

# 独立保証報告書



富士通株式会社 殿

ビューローベリタスジャパン株式会社(以下、ビューローベリタス)は、富士通株式会社(以下、富士通)の委嘱に基づき、富士通によって選定されたサステナビリティ情報に対して限定的保証業務及びレビュー業務を実施した。この保証報告書は、以下に示す業務範囲内に含まれる関連情報に適用される。

## 選定情報

限定的保証業務における我々の業務範囲は、「富士通グループ サステナビリティデータブック 2019」(以下、データブック)に記載された、2018年4月1日から2019年3月31日までの期間の以下の情報(‘選定情報’)に対する保証に限定される。

- ・別紙1「検証を実施した社会パフォーマンス指標の一覧」に記載されたすべての指標
- ・別紙2「検証を実施した環境パフォーマンス指標の一覧」に記載されたすべての指標

レビュー業務における我々の業務範囲は、「富士通グループ サステナビリティデータブック 2019」(以下、データブック)に記載された、2018年4月1日から2019年3月31日までの期間の、以下の情報(‘選定情報’)に対する保証に限定される。

- ・別紙3「レビューを実施した環境パフォーマンス指標の一覧」に記載されたすべての指標

## 報告規準

データブック内に含まれる選定情報は、データブックに記載された報告規準と共に読まれ理解される必要がある。

## 限定と除外

以下に関する情報のいかなる検証も、我々の業務範囲からは除外される。

- ・定められた検証期間の外での活動
- ・選定情報として挙げられていない、データブック内の他の情報

限定的保証は、リスクに基づいて選択されたサステナビリティデータのサンプルと、これに伴う限界に依拠している。この独立報告書は、存在するかもしれないすべての誤り、欠損、虚偽表示を検出するための根拠とされるべきではない。

## 責任

データブック内の選定情報の作成と提示は、富士通単独の責任である。

ビューローベリタスはデータブック又は報告規準の作成に関与していない。我々の責任は、以下の通りである。

- ・保証業務の実施により、選定情報が報告規準に準拠して作成されたかどうかについて、限定的保証を行うこと
- ・レビュー業務の実施により、選定情報の信頼性と正確性について評価を行うこと
- ・実施した手続きと入手した証拠に基づいて、独立した結論を形成すること
- ・我々の結論を富士通に報告すること



## 評価基準

我々は、International Standard on Assurance Engagements (ISAE) 3000 (Revised), Assurance Engagements Other than Audits or Reviews of Historical Financial Information (Effective for assurance reports dated on or after December 15, 2015) 及び ISO14064-3(2006): Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the validation and verification of greenhouse gas assertions に準拠して保証業務を実施した。

我々は、ビューローベリタスが定めるサステナビリティ報告に対する第三者レビューの手順を用いて、レビュー業務を実施した。

## 実施した業務の概要

我々の独立した検証の一環として、我々の業務には以下が含まれる。

1. 富士通の担当者へのインタビューの実施
2. 用いられた想定の評価を含む、選択された情報をまとめるために使用されたデータの収集及び集計プロセスと、データの対象範囲及び報告範囲の確認
3. 富士通によって提供された文書による証拠の確認
4. 定量的なデータの集計と分析のための富士通のシステムの確認
5. リスクに基づいて選定された以下の 6 箇所のサイト訪問実施による、データの源流を遡ってのサンプルの検証
  - ・富士通 本社事務所
  - ・富士通 本店
  - ・富士通 川崎工場
  - ・富士通 沼津工場
  - ・新光電気工業株式会社 高丘工場
  - ・富士通アイ・ネットワークシステムズ株式会社 山梨工場
6. 選定情報についての集計計算の再実施
7. 業務活動の変化、買収及び譲渡を考慮した、選定情報の前年値に対する比較

限定的保証業務で実施される手続は、合理的保証業務よりもその種類と時期が多様であり、その範囲が狭い。その結果、限定的保証業務で得られる保証の水準は、合理的保証業務が実施されていたなら得られたであろう保証よりも相当に低い。

## 検証された温室効果ガス排出量

我々は、ISO14064-3(2006)の要求事項に従って、温室効果ガス排出量の検証を実施した。

富士通によって作成された温室効果ガスに関する主張において検証されたデータは、以下の通りである。

	温室効果ガス排出量 [kt-CO <sub>2</sub> e]	算定範囲
スコープ 1	147	・富士通及び国内グループ会社 31 社、海外グループ会社 18 社の事業活動に伴う、2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日の期間におけるエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量 ・半導体製造を行う富士通グループ国内 3 拠点の事業活動に伴う、2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日の期間における HFC、PFC、SF <sub>6</sub> 、NF <sub>3</sub> 排出量
スコープ 2	808 (ロケーション基準)	
	771 (マーケット基準)	
スコープ 3	5,515	富士通により決定された各カテゴリーの算定範囲において、2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日の期間を対象として算定及び報告されたスコープ 3 カテゴリー 1, 4, 11 の排出量

スコープ 3 排出量の内訳は以下の通り。

カテゴリー1: 1,840 kt-CO<sub>2</sub>e | カテゴリー4: 27 kt-CO<sub>2</sub>e | カテゴリー11: 3,649 kt-CO<sub>2</sub>e

## 結論

上述した我々の方法と活動に基づき、

- ・選定情報が、報告規準に従って適切に作成されていないことを示す事項は、すべての重要な点において認められなかった。
- ・富士通は、我々の業務の対象範囲における定量的なデータについて、収集・集計・分析のための適切な仕組みを構築していると考えられる。

## 独立性、健全性及び能力の表明

ビューローベリタスは、190 年以上の歴史を有する、品質・環境・健康・安全・社会的責任に特化した独立の専門サービス会社である。保証チームは、環境・社会・倫理・健康及び安全の情報・システム・プロセスに対する検証の実施において幅広い経験を有している。

ビューローベリタスは、ISO9001:2015 の要求事項に適合する認証された品質管理システムを運用しており、従って倫理的な要求事項、専門的な基準及び適用可能な法規制上の要求事項への適合に関する文書化された方針や手順を含む、品質管理の包括的なシステムを維持している。

ビューローベリタスは、従業員が日々の業務活動において、誠実性、客観性、専門的な能力と配慮、機密保持、専門家としての態度、及び高い倫理基準を維持することを確実にするために、国際検査機関連盟 (IFIA) の要求事項を満たす倫理規程を、業務全体に対して実施し適用している。

ビューローベリタスジャパン株式会社

横浜市中区日本大通 18 番地

2019 年 9 月 20 日



検証を実施した社会パフォーマンス指標の一覧

指標	データブック内 ページ番号
女性幹部社員比率	3-3-4 4-2-2-6 6-2-2
障がい者雇用率	3-3-4 4-2-2-7 6-2-2
制度利用者数	3-3-4 4-2-2-7 6-2-3
度数率(災害発生率)	4-7-2 6-2-4
従業員数、平均年齢	6-2-2 7-1 8-1
年齢層別従業員数	6-2-2
新卒採用者数	6-2-2
地域別従業員数	6-2-1 7-2
平均勤続年数	6-2-2
サプライチェーン『CSR 調達の推進』(書面調査社数)	4-6-4

## 検証を実施した環境パフォーマンス指標の一覧

指標		データブック内 ページ番号
事業所における温室効果ガス(CO <sub>2</sub> ・CO <sub>2</sub> 以外)の排出量		4-4-2-13
輸送 CO <sub>2</sub> 排出量 ※富士通(株)および国内グループ会社		—
水使用量		4-4-2-24
PRTR および VOC の排出量		4-4-2-25 4-4-3-5
廃棄物発生量		4-4-2-26
廃棄物有効利用率		4-4-2-27
INPUT(設計・調達・製造・開発)	水	4-4-3-4
	エネルギー	
OUTPUT(設計・調達・製造・開発)	化学物質	4-4-3-5
	大気排出 温室効果ガス合計	
	大気排出 CO <sub>2</sub>	
	大気排出 CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス	
	廃棄物発生量	
	サーマルリサイクル量、マテリアルリサイクル量 廃棄物処理量	
OUTPUT(物流) 大気排出 CO <sub>2</sub> ※富士通(株)および国内グループ会社		—
Scope3(上流) 輸送・配送 ※富士通(株)および国内グループ会社		—
Scope1(自社) 直接排出		4-4-3-6
Scope2(自社) エネルギー起源の間接排出		
Scope3(上流) 購入した製品・サービス		
Scope3(下流) 販売した製品の使用		
Scope1 および Scope2 のエネルギー使用量		4-4-3-4

## レビューを実施した環境パフォーマンス指標の一覧

指標		データブック内 ページ番号
再生可能エネルギー利用量		4-4-2-16
再生可能エネルギーの利用割合		
輸送における売上高あたりの CO <sub>2</sub> 排出量の削減率		4-4-2-22
輸送 CO <sub>2</sub> 排出量		
輸送 CO <sub>2</sub> 排出量 ※海外グループ会社		—
INPUT(設計・調達・製造・開発)	化学物質	4-4-3-4
INPUT(物流) エネルギー		
OUTPUT(物流) 大気排出 CO <sub>2</sub>		4-4-3-5
OUTPUT(物流) 大気排出 CO <sub>2</sub> ※海外グループ会社		—
Scope3(上流) 輸送・配送		4-4-3-6
Scope3(上流) 輸送・配送 ※海外グループ会社		—